

優しく強い子に！



<http://www.minamih.net/>  
19・12・1(日)  
南NEWS no 105

## TOMAS 3年生12ブロック大会 2019年11月24日(日)文化大G

- めあて  
首を振って周りを観る・強い気持ちで競り合う・浮き球を逃がずに体の正面で受ける・技を使う
- 南八王子SC 1-2 南大沢FC (前半0-1)  
得点：ユウセイ君  
立ち上がり、ユウセイ君のドリブルから攻め込み、右PAからのコウヨウ君のドリブルシュートなどチャンスをつく作り、南八王子ペースで試合を進めていましたが、決定機を作れずにいると徐々にパス主体の相手ペースの展開に。前半9分、相手ボールを奪ってもなかなか自陣からボールを運べずにいるところ相手に奪われ失点。  
前半はその他に2回の縦パス1本の相手カウンター攻撃を受けピンチを向かえますが、GKヒデオ君がタイミングの良い飛び出しで防ぎ、0-1で折り返します。

後半6分、GKハヤト君のパンツキックからユウセイ君が持ち込みゴールを狙いますがGK正面。後半8分にもヒロト君が左PA内からシュートを放ちますが惜しくもポスト左へ外れます。後半9分、またしても相手カウンターによりピンチを向かえGKハヤト君がナイスセーブで弾き返してくれましたが、南八王子の戻りが遅くフリーの選手に押し込まれ0-2とされます。後半10分、右サイドを突破したユウセイ君のクロスにヒロト君がダイレクトで合わせますが惜しくもボールはポスト右へ。後半11分、左サイド高い位置でユヅキ君が奪い、ヒロト君がフォローしクロスを展開からPA内混戦の中ユウセイ君が押し込み1点を返します。同点にすべく全員よく走りましたが、シュートチャンスを作れずに試合終了となりました。



### ○南八王子SC 0-3 平山SC (前半0-2)

この試合はドリブルサッカーを徹底することを「めあて」にして挑みました。前半後半ともに立ち上がりの動きが悪く、簡単に攻め込まれてしまいます。前半2分に自陣深い位置で奪いドリブルで運びますが、危険な位置で奪い返され、横パスを通され失点。失点直後の前半3分にも左サイドをパスで繋がれ、誰も全力で追いかけて、簡単にフリーの状態です。後半2分にも同じように右サイドを簡単に突破され3失点目を喫します。ただし「めあて」であるドリブルサッカーを全員がやろうとし、実行していました。(ドリブルの進むべき方

向・ターンや技が出来た、出来ないは別として、全員が挑戦していたので、試合終了後、全員を褒めました)

シンヤ君の混戦の中からのこぼれ球のシュートや右サイドをドリブル突破したユウセイ君のクロスに合わせたハヤト君のシュート、コウヨウ君がドリブルで運びフォローしたハヤト君のミドルシュートなど、得点することは出来ませんでした。チャンスは作り、得点差はつきましたが内容は互角でした。

南八王子のC組は、南大沢FCが平山SCに1-0で勝利し、南大沢FCが二次リーグ進出となりました。

### ○総括

どの選手もドリブルで仕掛ける・仕掛けようとする意識を持っており、特に2試合目はしっかり全員が実行して、すばらしかったです。今後が楽しみです。ただ守備面になるとまだまだです。

ポジションに関わらず、ピンチになる場面の予測が出来ない選手が多く、準備が出来ないもので、当然相手に負けることは出来ず、また追いつけないと思ったら全力で走らない選手が多いです。また今日の試合で目立った足だけの軽守備をしないこと、全員が北斗七星のシステムを強く意識し、SB・CBはつるべの動き、FW・MFはボールを簡単に蹴らせない、突破されれば、失点に繋がるとしたら全力でカバーに戻る意識を強く持ちましょう。

いつものように今日もヒデオ君のコーチングが良かったです。3年生は良く声が出ている選手が多いのですが、今日は明らかにみんな緊張して声が出ていませんでした。全員がヒデオ君のような状況確認の声掛けや仲間がプレーしやすいポジティブな声掛けをみんな分かるくらい大きな声で出来るようにしたいですね。保護者の皆さま、コーチの皆さま、朝早くより会場設営の準備・本部・審判ありがとうございました。皆さまのお陰でピッチコンディションが心配されましたが無事大会を進めることが出来ました。

by 岩堀コーチ

星のシステムは矢上が考えたのですが、Jの試合を観ても、サッカーの本を読んでも納得できるものがあるのです。イタリアのコーチ、レナート・バルディの本「モダンサッカー教科書」にも論理的に説明できる記述があるのです。

